



中河 つる子 議員 9ページ

- 1 スーパー2店舗閉店後の買い物弱者への対応は



山下 清美 議員 10ページ

- 1 困りごと支援専門員の配置について



佐藤 幸一 議員 11ページ

- 1 庁内における新型コロナウイルス感染症に係る予防と対応について
- 2 清水高等学校の存続に向けた取り組みについて



高橋 政悦 議員 12ページ

- 1 With コロナ時代のイベントの在り方について
- 2 自主防災組織の推進と火防組織の在り方、令和4年度予算への反映について
- 3 新型コロナウイルス感染症に関する情報発信の在り方について



深沼 達生 議員 13ページ

- 1 本町において農業用水を通ず計画について



鈴木 孝寿 議員 14ページ

- 1 予算説明に対する執行の瑕疵の対応について
- 2 清水町職員定数条例に伴う職員配置の現状について
- 3 コロナウイルス感染症の影響を受ける新年度事業の対応について



川上 均 議員 15ページ

- 1 「子ども権利条例」の制定の取り組み
- 2 子どもの貧困対策の取り組み
- 3 有機農作物の推進と有機学校給食の取り組み

町政を問う！ 一般質問

3月定例会では、7人の議員が14項目にわたり一般質問を行いました。

※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。なお、一般質問の全文はホームページでご覧になれます。(3月定例会の内容は、6月末に掲載予定です)

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関(町長や行政委員会)にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



中河 つる子 議員

スーパー2店舗閉店後の 買い物弱者への対応は

町長 住民の利便性向上につながるよう 各種支援の充実を図る

問

昨年、清水地区のスーパーが2店舗閉店した。住民の買い物の行き先は、1件のみとなったスーパーに集中している。このコロナ禍の中、店の中は混み合い、駐車場も混んでいる。また、駐車が出来ず買物を諦めて帰る人もいるという。路上駐車も見られ、接触事故も発生していると聞く。遠くから歩いている人は混み合う中でコロナを心配しながら買い物をしている。今の状況をどう見ているか。

町長

昨年2月に食彩館、8月にはプラザ。いちまる清水店が閉店したところである。本町は人口減少が進んでいるとはいえ約9300人を有しており、従来、3店舗で食料品等を中心に買物をされていたことから、不便と感じている住民が一定程度存在すると考えている。

問

スーパー1店舗しかない現状をどうにかする考えはないか。

町長

買い物弱者等住民の困りごとにも出来るだけ寄り添っていくが、人口減少等に伴う市場経済の縮小を行政サービスで全て補うのも限界がある。引き続き商業振興が住民の利便性向上につながるよう、各種支援の充実を図っていく。

問

遠くから歩いて買い物に出てくる人、また歩くのが不自由で買い物に出てもらえない人に対して、移動販売車等の誘致やその他工夫する考えはないか。

町長

高齢化に伴う移動手段の確保に引き続き力を入れる。高齢者へのタクシー券配布、コミュニティバスや買物銀行バス等の移動手段を充実し、新年度からは試験的に民間事業者等と連携し、移動販売車による販売に取り組みたい。具体的な時期や実施主体は未定であるが、福祉的サービスであるが、買い物弱者への支援が、少しでも町内経済活動に結びつくよう商工会とも協議をしていく。



買い物銀行バス利用の様子